

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号 ・事業名	57	県内国公立大学薬学部設置支援事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	5-(4)-ウ-②			
					薬剤師の確保と資質向上			
担当部課名	保健医療介護部 業務生活衛生課	事業実施 (予定)年度	R4~R9	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	令和4年度に策定した「沖縄県内国公立大学薬学部設置に関する基本方針」を踏まえ、県内国公立大学に対し薬学部設置に向けた支援を行うとともに、薬学部設置により期待される効果を最大化するための取組を実施する。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和26年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】			R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	11,255		10,004		10,919	
		(b)予算現額	11,255		10,004		10,919	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)前年度繰越額						
		A.計(b+d)	11,255	0	10,004	0	10,919	
	B.執行済額		11,255		10,000		10,883	
	うち交付金充当額		9,004		8,000		8,706	
	C.次年度繰越額				0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%		100.0%		99.7%	
予算の状況の説明		・執行率は99.7%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	・琉球大学との協議会の開催 2回	目標	-	-	-	2回		
		実績	-	-	-	4回		
	・薬学部設置推進協議会の開催 2回	目標	-	3回	3回	2回		
		実績	-	3回	2回	0回		
進捗 状況 説明	当初琉球大学との協議会后、薬学部設置推進協議会開催を予定していたが、琉球大学との協議に想定より時間を要したため薬学部設置推進協議会は開催出来なかった。							
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)	
	薬学部設置計画(案)の策定	目標	-	-	-	1件	-	
		実績	-	-	-	0件	-	
	【R26成果目標】 薬局・医療施設に従事する人口10万人当りの薬剤師数		目標	148.6人				198.6人
	達成 状況 説明	琉球大学との協議の結果、県内国公立大学への薬学部設置には様々な課題(教員及び学生定員の確保、イニシャルコスト、ランニングコストの確保)があり、薬学部設置計画(案)の策定には至らなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	県内国公立大学における薬学部設置計画(案)の策定するためには、薬学部設置に係る様々な課題を解決する必要がある。	県内国公立大学へ薬学部を設置するにあたり、県内関係団体等の協力を得ながら、関係省庁・機関に対し支援を要請する必要がある。
今後の取り組み方針		
・県内関係団体の協力を得て、関係省庁・機関に対し支援を要請する。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
10,883	10,883	8,706	2,177	0	0	0


```

graph LR
    A[沖縄県  
交付対象  
事業費  
10,883千円] --> B[委託料  
10,000千円]
    A --> C[事務費  
883千円]
    B --> D[三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)  
10,000千円]
    
```

資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、令和4年度に実施した企画提案プロポーザルによって選定された事業者で、これまでの経緯や過去の調査・検討結果を熟知しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、事業報告書等进行检查し、適正である事を確認した。